

エヌエムシイ

『私書箱システム』で仕事の見える化
セミナーで事務所活用事例を公開

財務システム『CASH RADAR』で知られる(株)エヌエムシイ(本社=東京・中野区、代表取締役社長=野本明伯税理士)は、ITを活用した会計事務所と顧問先を結ぶWebコミュニケーションツールとして『私書箱』の利用を会計事務所呼びかけている。

このツールは、デジタル上で、質疑応答、報告書提出、決算関連資料保存が可能となり、「情報の共有化」「仕事の見える化」を実現させる仕組み。顧客数が増えてくると職員からの報告や退職時の引継ぎがおろそかになりがちで、それが原因でクレームに発展するケースもある。職員と顧問先とのやり取りの履歴の確認ができたり、会計データのチェック内容の詳細がわかったり、監査報告や顧客との面談記録が議事録風にまとまっていたのなら、業務ミスも防げコミュニケーションも良好に保てる。事実、『私書箱』活用をきっかけに、定期訪問型サービスだった顧問先の約7割が来社型へと移行。つまり、事務所内で業務をどのように“見える化”し、どのように顧客に“見せる化”するのか、を実現さ

せるITシステムというわけ。

会計業務における今後のIT活用のカギは、コミュニケーションの深化にあるといっても過言ではなく、自計化によって経営情報の見える化が実現することは大きな意味を持つ。同システムでも、郵便局の私書箱と同じように、お客様専用BOXをWeb上に持っているイメージで、「定款、決算書、申告書、資料等」の財務データを保管し、必要に応じて閲覧・印刷できる機能も備わっていることから、エヌエムシイ税理士法人では監査・決算ファイル収納用の大型キャビネット6台分がすべて空の状態になった。

同社では、グループ会社であるエヌエムシイ税理士法人において、同システムの運用を2010年からスタートさせ、会計事務所利用時のノウハウを蓄積させている。『私書箱』をマネジメントに活用する同事務所の実例などを多くの事務所に知ってもらおうと、6月21日(火)、24日(金)、同事務所においてセミナーを開催する。Webツールで日々の業務を効率化したい税理士にとっては、必見のセミナーと言えそうだ。

<エヌエムシイ税理士法人直伝>
超実践!仕事の「見える化」を実現する

情報共有化推進セミナー



【講師】
株式会社エヌエムシイ
代表取締役社長
エヌエムシイ税理士法人
代表・税理士 野本明伯 他

- ▶ 1年で209件の顧客急拡大
- ▶ 税理士資格者、経験者50人以上の相次ぐ退職
- ▶ 顧客クレーム検出で新規契約一時停止 …など

“仕事見える化”するシンプルなかき

人材活用の失敗事例から生まれた
Webコミュニケーションツール『私書箱』※7面参照

開催日
6/21(火)・6/24(金)
各日とも13:30~17:00 ※同一内容

会場および参加費用

- ▶ 会場: エヌエムシイ本社大研修室
- ▶ 参加費用: 一事務所様3名まで 50,000円(税込・事前振込)

お申込み方法 お電話または、当社ホームページよりダウンロードした申込書に記入のうえFAXしてください。

☎03-5354-5201

エヌエムシイ 検索
URL: <http://www.nmc-van.co.jp/>

お問い合わせ 株式会社エヌエムシイ セミナー担当
東京都中野区本町2-46-1 サンフアイトツイン26階
TEL: 03-5354-5201 FAX: 03-5354-5231